サポート情報記事

List Filter Online Web パーツの構成

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

Web パーツの概要 4

主な機能 4

Web パーツのレイアウト 5

API のアクセス許可 5

Web パーツの構成 6

データ ソース 7

列 8

列の表示オプション 9

フォルダー 10

項目数の上限 11

ページング 12

並べ替え 12

グループ化 13

集計 14

フィルター 15

フィルター ウィンドウ 17

コマンド ツールバー 19

外観 20

開発者ツール 21

バージョン情報 22

まとめ 22

用語 24

Vitextra List Filter Online Web パーツを使用すると、ユーザーは **SharePoint** のリストまたはドキュメント　ライブラリのデータをフィルター処理して取得できます。この記事では、この Web パーツの主な機能と構成方法について説明します。内容は製品バージョン 26.10 に対応しています。

Web パーツの概要

List Filter Online Web パーツは、ユーザーが SharePoint のリストやドキュメント ライブラリから必要な情報をすばやく見つけるのに役立ちます。日付、作成者、コンテンツなどの条件で結果を絞り込める柔軟なフィルター　システムを備えており、直感的なインターフェイスで、ユーザーは自分のニーズに合わせてビューを調整できます。

これを使用すると、大規模なデータセットの中から特定のドキュメントを簡単に探し出すことができ、業務に最も関連性の高い情報をすぐに利用できる状態に保てます。

主な機能

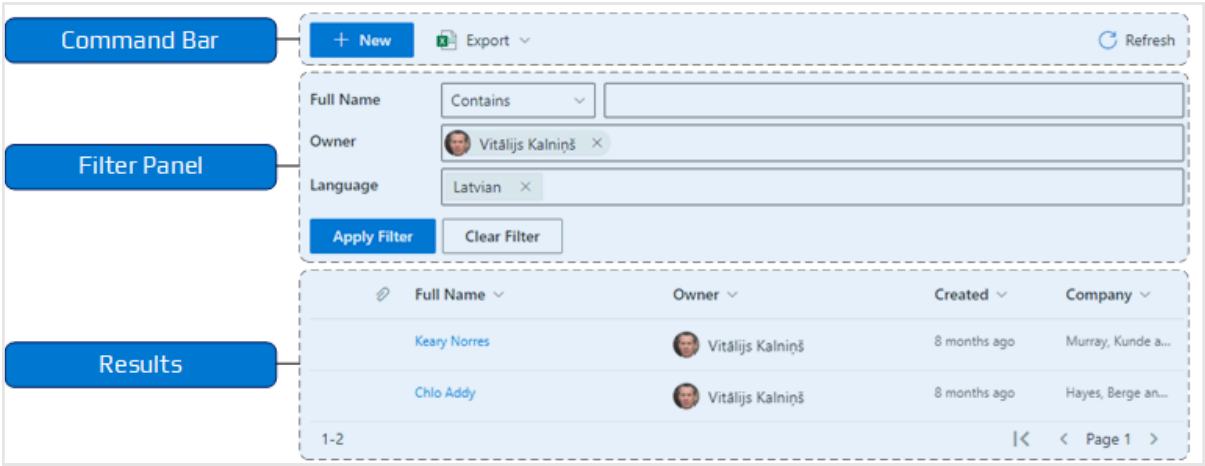
- 現在のサイト、またはテナント内の他の任意のサイトのデータを表示
- 複雑な **CAML** クエリを作成する Query Builder
- 列ごとのコントロールを備えた、関連情報を検索するためのフィルター　ウィンドウ
- すでに適用されているフィルターに応じてドロップダウンの選択肢を絞り込むカスケード フィルター
- 保存済みフィルターと共有可能なフィルター　リンク。ユーザーが最後に使用したフィルターを記憶するオプション付き
- リストの列見出し、表示形式、**列の書式設定 JSON**
- グループ化、並べ替え、集計
- Excel へのエクスポート
- リストおよびライブラリのビューにある **List Filter で開く** コマンドにより、選択した項目をこの Web パーツがあるページで開く

警告

List Filter Web パーツは、既存のビューの選択をサポートしていません。代わりに、Web パーツに表示する列を選択します。

Web パーツのレイアウト

この Web パーツは、**コマンド バー**、**フィルター ウィンドウ**、**結果**テーブルの 3 つの主要な要素で構成されています。他の 2 つの要素とは異なり、結果テーブルは常に表示され、非表示にすることはできません。



List Filter Online Web パーツ

すべての列ヘッダーには、並べ替えと列の値によるフィルター処理を行うためのメニューがあり、すべての行には、項目を開く、共有する、ダウンロードする、バージョン履歴を表示する、削除するなどの項目コマンドを含むコンテキスト メニューがあります。

メモ

List Filter Online は他の Web パーツに接続することはできませんが、データをフィルター処理するスタンドアロン ツールとして使用できます。

ヒント

ソリューションの概要については、KB10250. List Filter Online: ソリューションの概要を参照してください。展開と Web パーツのページへの追加については、KB10251. List Filter Online のインストールとページへの追加方法で説明しています。**List Filter で開く** コマンドについては、KB10254. SharePoint 標準のリストから選択した項目を List Filter Online で開くで説明しています。

API のアクセス許可

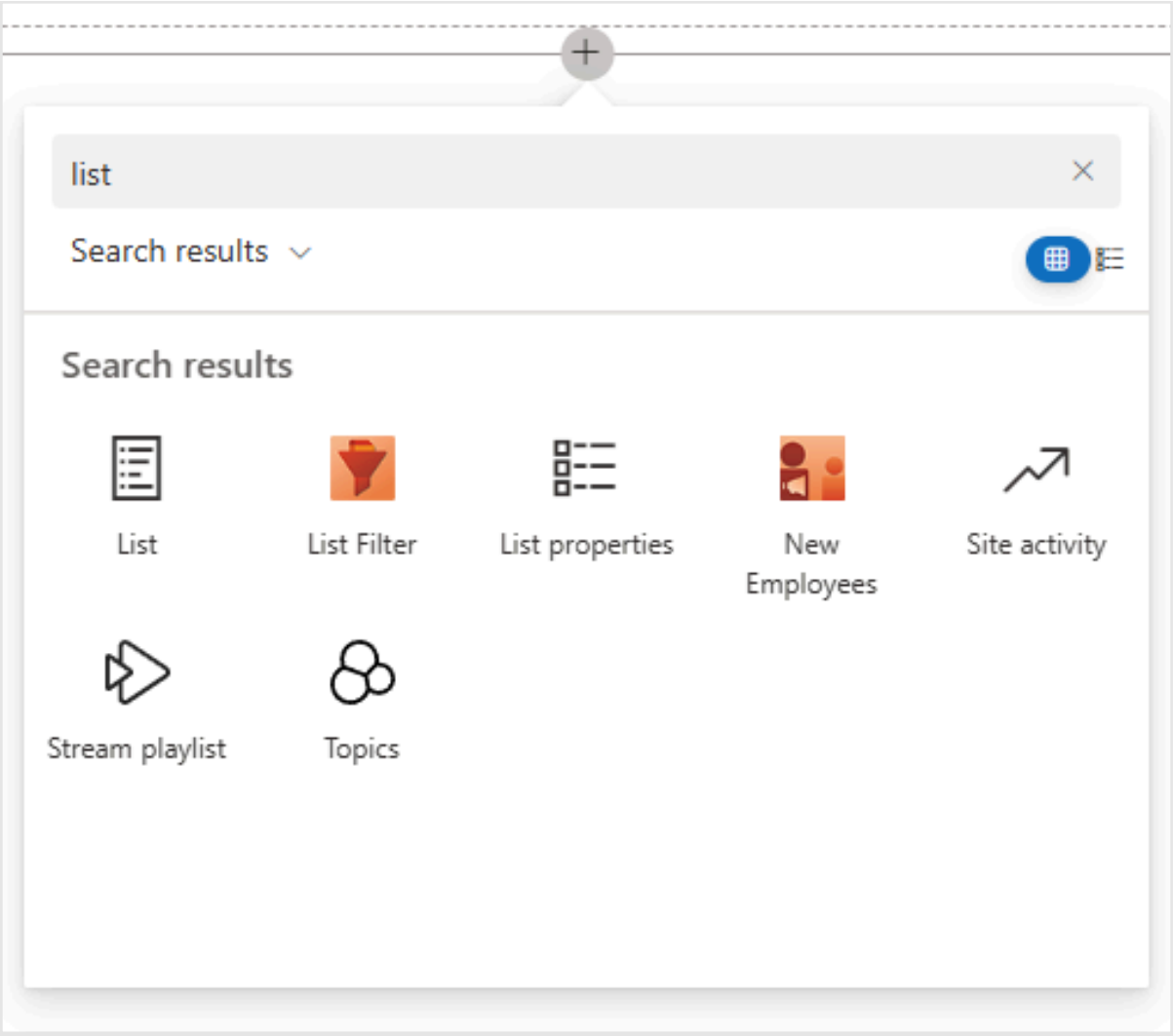
List Filter Online Web パーツは、SharePoint 組み込みの **REST API** を使用して、リストやドキュメント　ライブラリからデータを取得します。そのため、追加のアクセス許可は不要で、すぐに展開して使用できます。

メモ

List Filter Online Web パーツには API のアクセス許可は必要なく、展開後すぐに使用できます。

Web パーツの構成

パッケージを展開すると、List Filter Online Web パーツが、**List Filter** という名前で Web パーツ ギャラリーに表示されます。

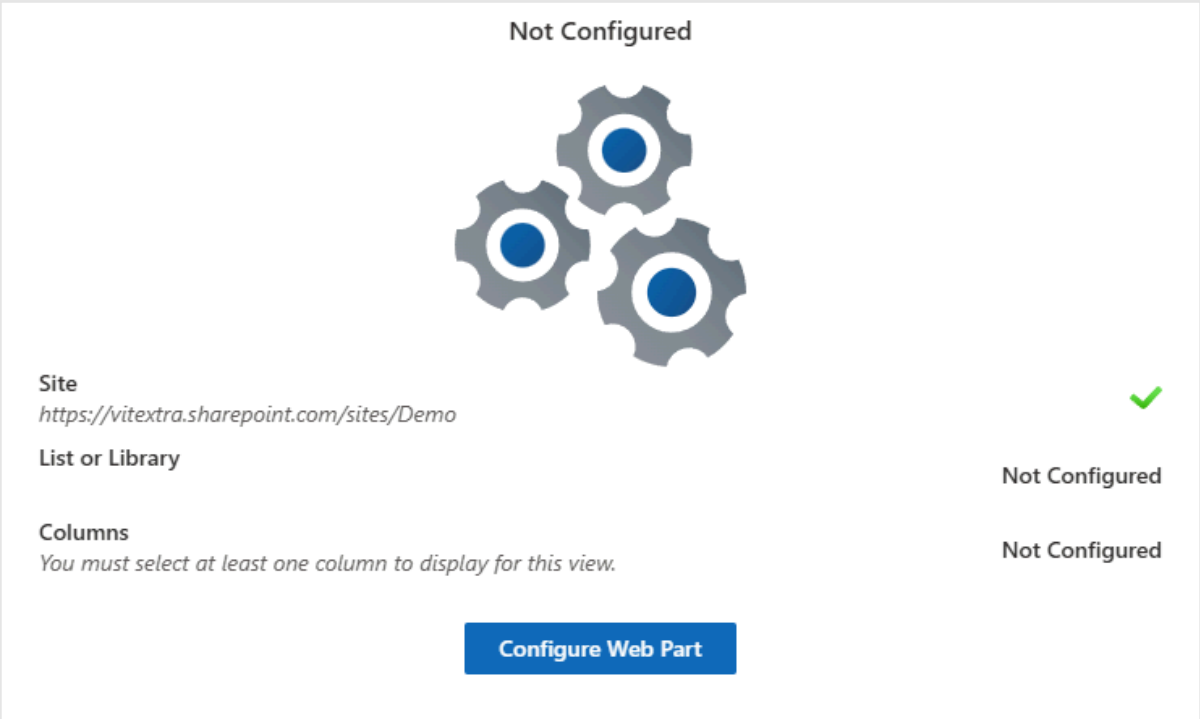


SharePoint Online の Web パーツ ギャラリー

ヒント

お使いの環境に Web パーツを展開するには、KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法の記事を参照してください。

List Filter Web パーツをページに追加すると、次のアラートが表示されます。



構成が必要であることを示すメッセージ

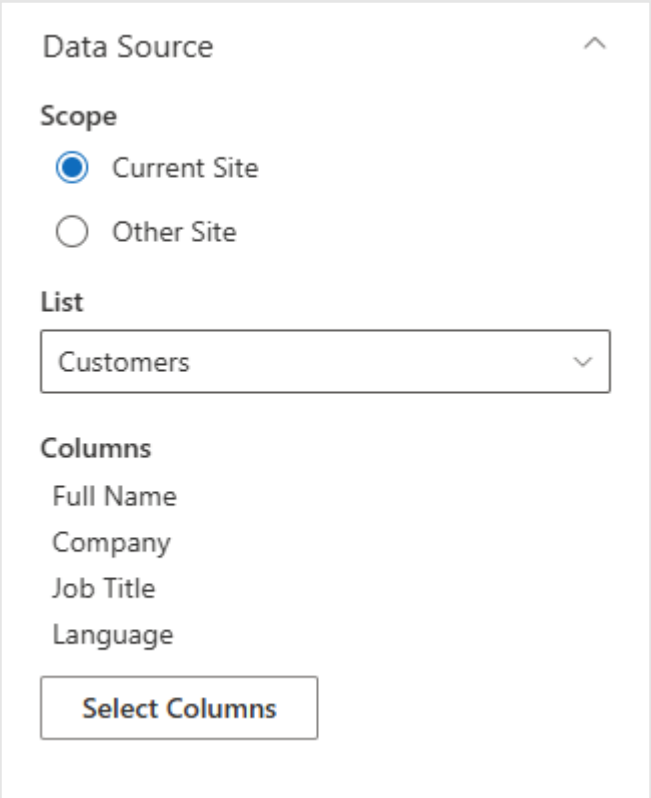
次の 3 つの必須パラメーターを指定する必要があります。

1 **サイト**。データを表示するリストを含む SharePoint サイトです。現在のサイト、またはテナント内の他の任意のサイトを指定できます。
2 **リストまたはライブラリ**。取得して表示するデータを含むリストまたはライブラリです。
3 **列**。リスト ビューに含める列のセットです。

Web パーツを構成するには、**Web パーツの構成**をクリックして、構成パネルを開きます。

データ ソース

最初のセクションである **データ ソース**では、データの取得元を指定します。この Web パーツは、任意の SharePoint サイトの情報を表示できます。



List Filter のデータ ソースの設定

まず **スコープ**オプションを選択します。

- **現在のサイト**（既定）は、ページがあるサイトを使用します。
- **他のサイト**を選択すると、**サイト URL**ピッカーが表示されます。検索バーにサイトの URL または名前を入力し、候補から選択します。

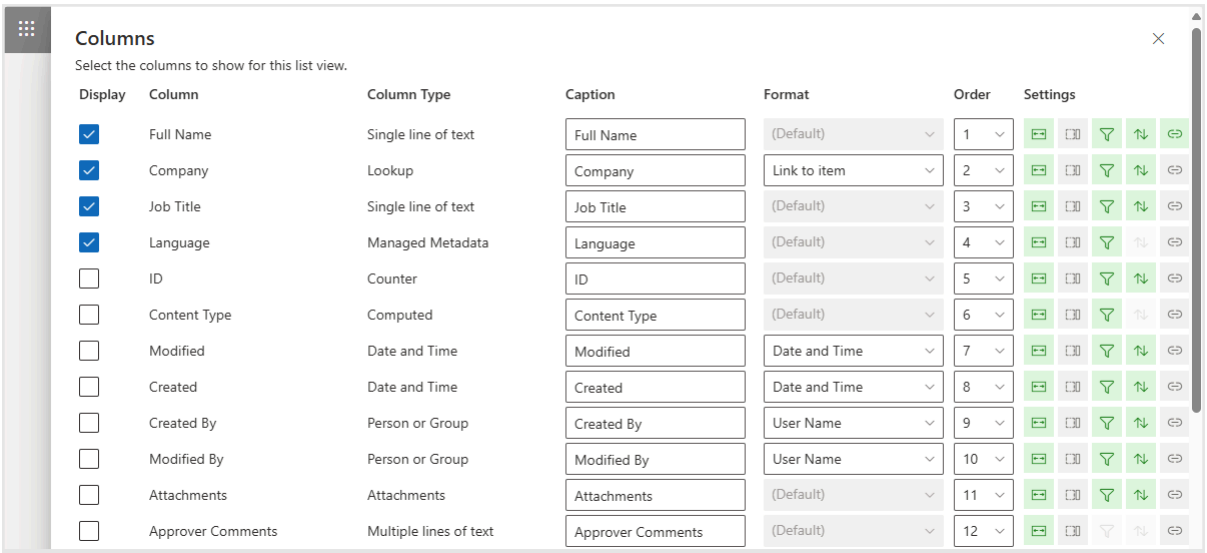
次に、そのサイト内の特定のリストまたはドキュメント　ライブラリを　**リスト**ドロップダウンから選択します。

メモ

サイトまたはリストを変更すると、選択した列、フィルター　ウィンドウの列、定義済みフィルターはリセットされます。これらは以前のリストのスキーマに属しているためです。

列

最後の必須パラメーターは、リスト　ビューに表示する列のセットです。**列の選択**ボタンをクリックして、列のオプション パネルを開きます。



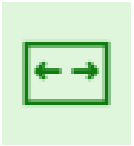
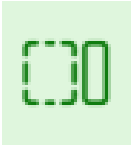
List Filter のデータ ソースの設定

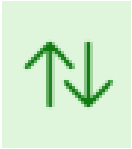
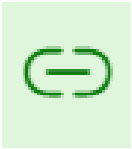
警告

List Filter Web パーツは、既存のビューの選択をサポートしていません。代わりに、Web パーツに表示する列を選択します。

列の表示オプション

リスト　ビューの各列に対して、**キャプション**、**書式**、**順序**を設定できるほか、列の動作を制御する一連のスイッチを設定できます。

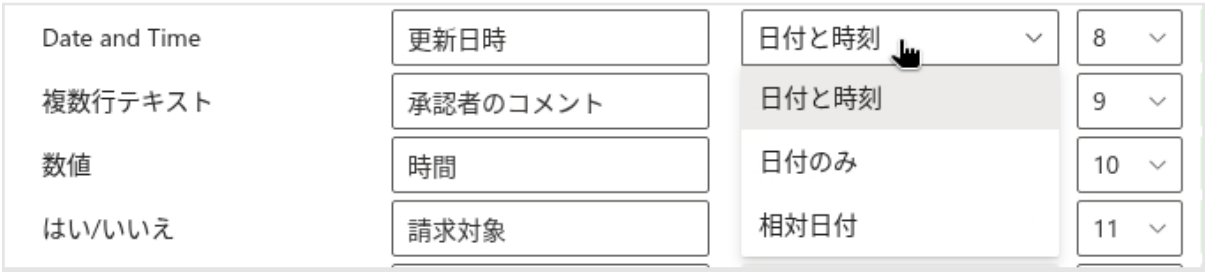
アイコン	名前	説明
	サイズ変更可能	ユーザーが列のサイズを変更できるようにします
	折りたたみ可能	列に十分なスペースがない場合に、Web パーツが列を折りたためるようにします
	フィルター可能	ユーザーが列のコンテキスト メニューで 1 つ以上のオプションを選択して、列の値をフィルター処理できるようにします

アイコン	名前	説明
	並べ替え可能	列でビューを並べ替えられるようにします
	アイテムへのリンク	列の値を、項目またはドキュメントへのリンクとして表示します

書式　ドロップダウンには、列の種類に適した表示形式が表示されます。それ以外の種類の列では **(既定)**と表示され、選択できません。

- 日付と時刻の列: **日付と時刻**、**日付のみ**、**相対日付**。
- 参照列: **アイテムへのリンク**または **値**。
- ユーザーまたはグループの列: **ユーザー名**、**ユーザー名 (画像付き)**、または **ユーザー名 (画像と詳細付き)**。最後の形式では、ユーザーが名前をクリックするとプロファイル カードが開きます。
- ハイパーリンクまたはイメージ列の画像形式: **32 x 32 px**、**64 x 64 px**、または **96 x 96 px**。
- ドキュメント ライブラリのサムネイル列: **176 x 99 px** または **96 x 54 px**。

複数行テキストの列は、自動的に複数行テキストとして表示されます。



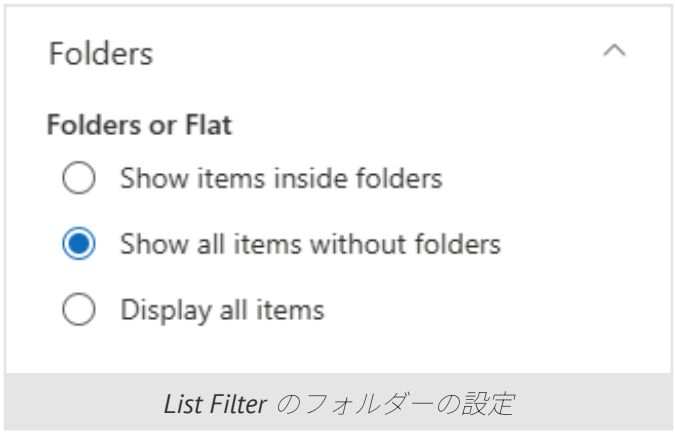
列] パネルの日付列の形式オプション

ヒント

見出し、形式、その他の列オプションについては、KB10258. List Filter Online での列の構成: 見出し、形式、表示オプションで詳しく説明しています。

フォルダー

このセクションでは、フォルダー内のデータの表示方法を制御します。



List Filter のフォルダーの設定

フォルダーまたはフラットでは、いくつかのオプションから選択できます。

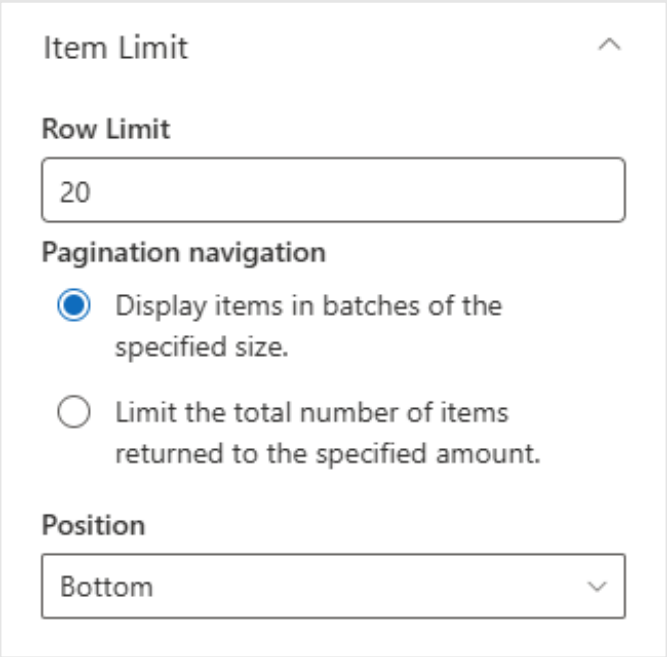
フォルダー内のアイテムを表示。各フォルダー内の項目を個別に表示します。ユーザーはパンくずリスト　バーを使用してフォルダーの中に移動したり、戻ったりします。　　**フォルダーなしですべてのアイテムを表示**（既定）。フォルダーを使わず、すべての項目を同じ階層に表示します（「フラット」**ビュー**）。　**すべてのアイテムを表示。**すべての項目とそのフォルダーを同じ階層に表示します。

ヒント

フォルダー　ナビゲーション、フラット　ビュー、パンくずリストについては、KB10261. List Filter Online でのフォルダーの操作: フォルダー ナビゲーション、フラット ビュー、階層リンクで説明しています。

項目数の上限

このセクションでは、ビューに表示される項目数を制御します。**行数の上限**フィールドに数値を入力します。値は 1 ～ 1000 の範囲で指定する必要があります（既定は 20）。



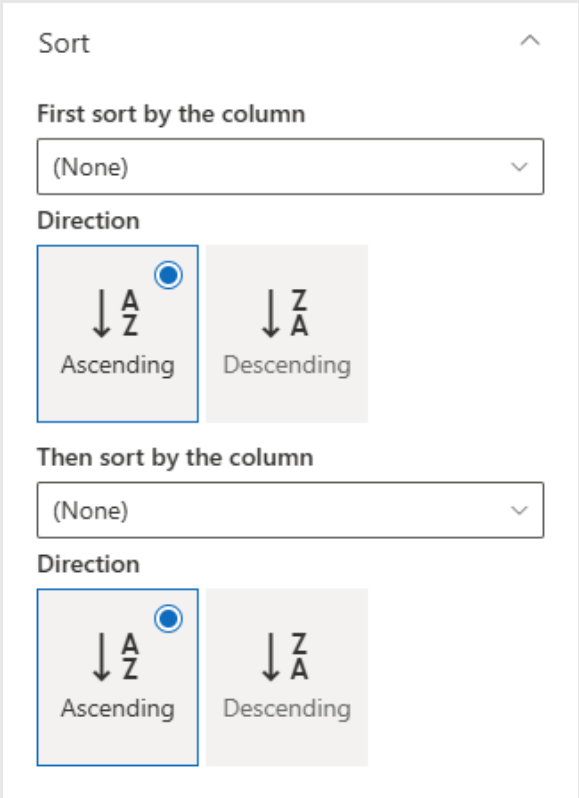
List Filter のページングの設定

ページング

ページングを有効にするには、**指定したサイズのバッチでアイテムを表示します。**を選択し、ページング コントロールの **位置**として **下部**、**上部**、**上部 + 下部**のいずれかを選択します。 ページングを無効にするには、**返されるアイテムの総数を指定した量に制限します。**を選択し、目的の数値を入力します。

並べ替え

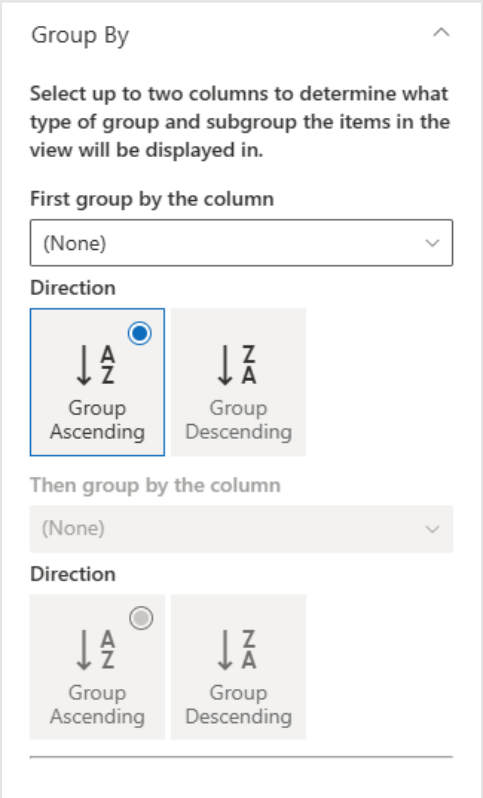
並べ替えセクションでは、最大 2 つの列でビューを並べ替えることができます。**最初に列で並べ替え**と **次に列で並べ替え**で、それぞれに **方向**（**昇順**または **降順**）を指定します。並べ替え可能な列のみが表示されます。



List Filter の並べ替えの設定

グループ化

項目をグループ化すると、データを把握しやすくなります。項目をグループ化するには、Web パーツの設定の **グループ化**セクションで、最大 2 つの列（**最初に列でグループ化**と **次に列でグループ化**）を選択し、各レベルで **グループ昇順**または **グループ降順**を選択します。



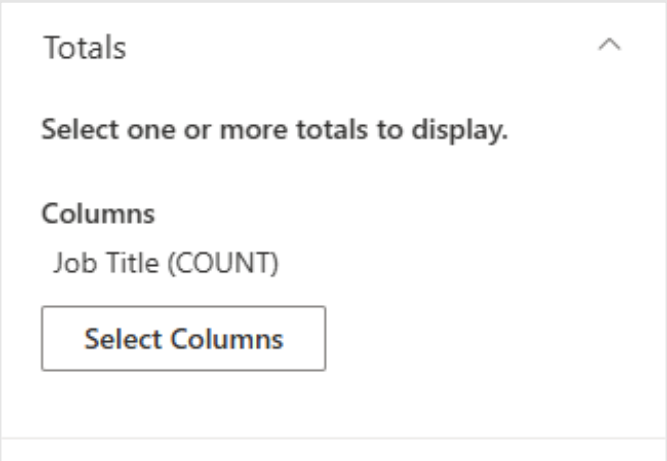
List Filter のグループ化の設定

メモ

グループ見出しは最初のグループ化列にのみ表示されます。グループは常に展開された状態で読み込まれます。ユーザーは結果テーブルで個々のグループを折りたたんだり展開したりでき、グループの状態はプロパティ　ウィンドウでは設定しません。

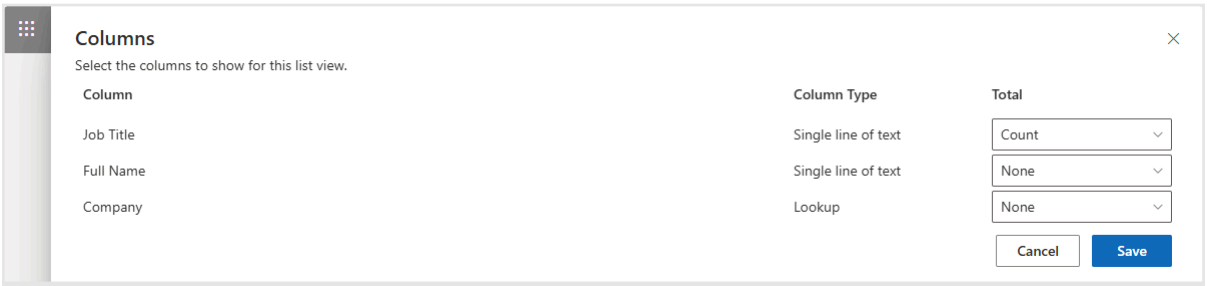
集計

集計を使用すると、リスト　　ビューの特定の列に対して簡単な計算を実行できます。集計値はグループごとではなく、テーブル下部の 1 行に表示されます。



List Filter の集計の設定

集計を構成するには、構成ウィンドウの **合計**見出しの下にある **列の選択** ボタンをクリックし、適用する関数を選択します。**件数**はすべての種類の列で使用できます。**平均**、**最大**、**最小**は日付、数値、通貨の列で使用できます。**合計**、**標準偏差**、**分散**は数値および通貨の列で使用できます。



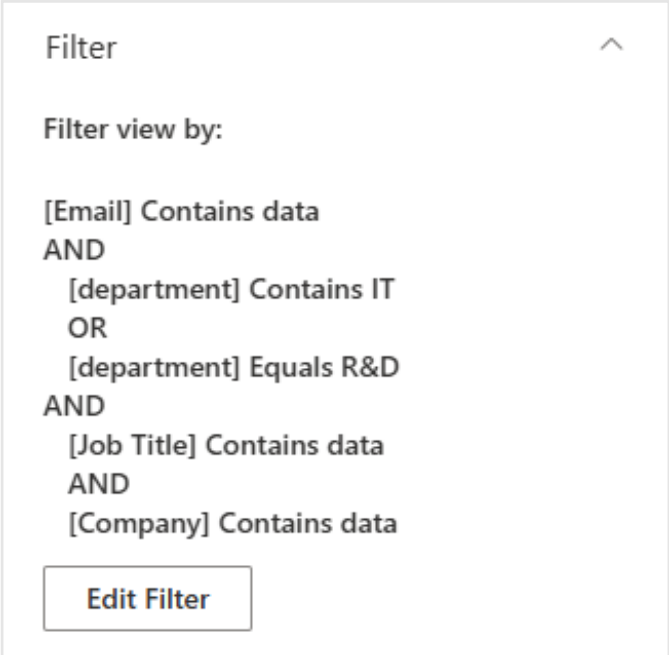
List Filter の集計列の設定

ヒント

集計付きのグループ化ビューの例については、KB10260. List Filter Online でのグループ化、並べ替え、集計を参照してください。

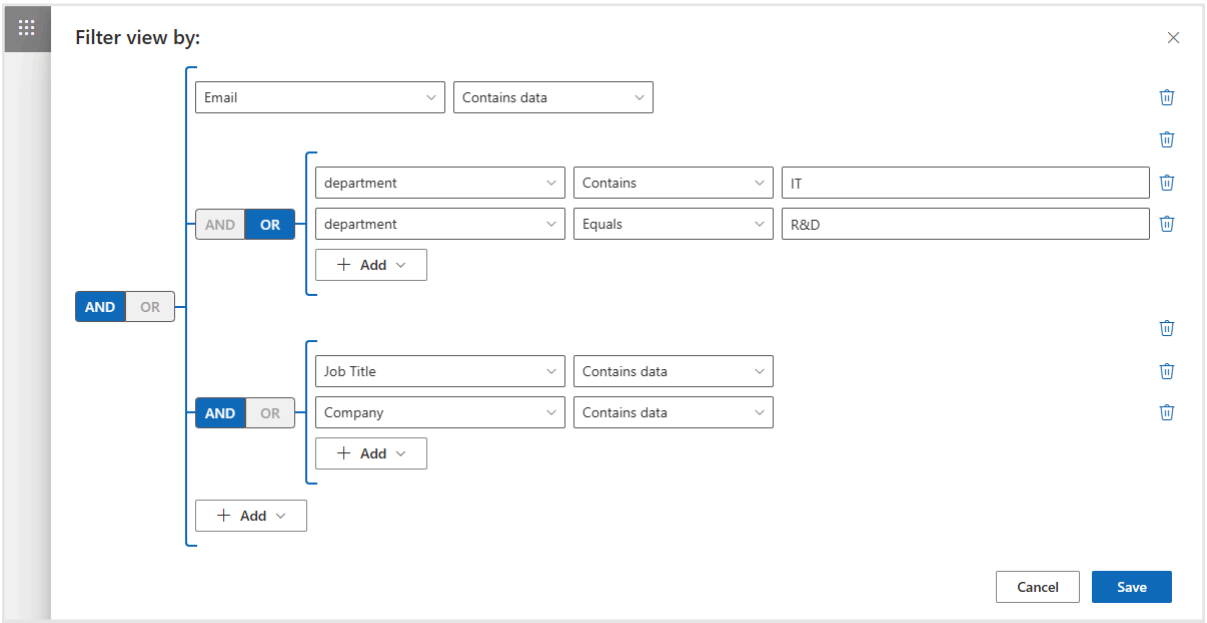
フィルター

List Filter Web パーツの **フィルター**セクションには、SharePoint のリストやライブラリから特定のデータを取得する複雑なクエリを作成するための Query Builder が含まれています。このクエリはユーザー自身のフィルターよりも先に適用されるため、Web パーツが扱う項目のセットを定義します。



List Filter のクエリの設定

Query Builder では、**AND / OR** で条件をグループ化したり、グループを入れ子にしたり、列の種類ごとに使用できる演算子を選択したりできます。演算子には、**今日**、**過去X日間**、**現在のユーザーである**などの動的な演算子も含まれます。



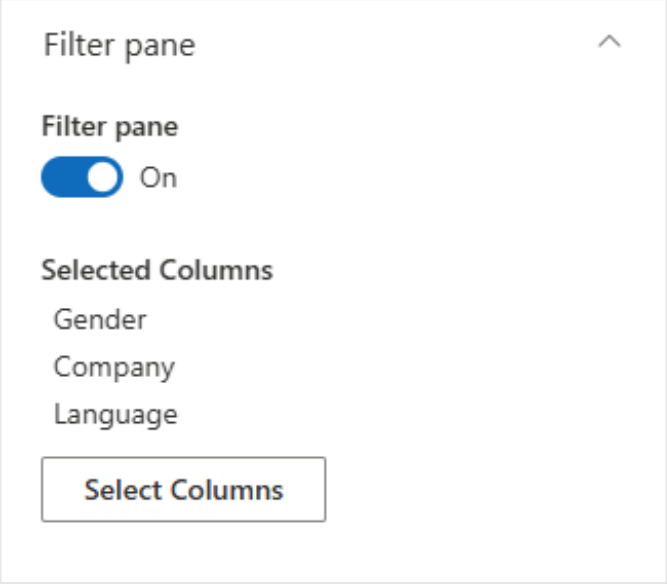
List Filter の Query Builder

メモ

List Filter の Query Builder は、SharePoint のリストまたはライブラリからデータを取得するための CAML クエリを作成します。手順を追った例は、KB50025. List Filter Online のクエリ ビルダーで複雑なクエリを作成する方法で紹介しています。

フィルター ウィンドウ

フィルター ウィンドウを使用すると、エンド ユーザーは、管理者が指定した列とコントロールを使ってリスト ビューをフィルター処理できます。



List Filter のフィルター ウィンドウの設定

フィルター ウィンドウセクションには、3 つのスイッチがあります。

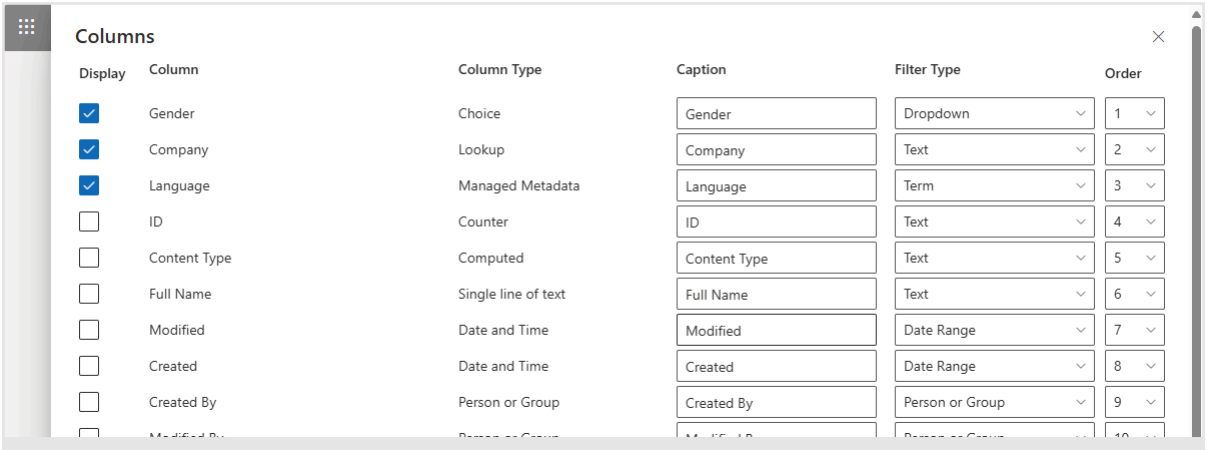
- フィルター ウィンドウ。結果の上にフィルター ウィンドウを表示または非表示にします。
- カスケード フィルター。有効にすると、ドロップダウンと複数値のドロップダウンの選択肢が、パネル内の他のコントロールで選択されたフィルターによって絞り込まれるため、結果が空になる組み合わせを減らせますが、空の結果を完全に防ぐものではありません。このスイッチは、フィルター ウィンドウが有効な場合にのみ使用できます。KB10256. カスケード フィルター: 選択済みの他のフィルターによるドロップダウン オプションの絞り込みを参照してください。
- ユーザーの前回のフィルターを記憶する。ユーザーが適用したフィルターをブラ

ウザーに保存し、次にページを開いたときに復元します。リンクで共有されたフィルターは、常に記憶されたフィルターよりも優先されます。保存済みフィルターとフィルター リンクについては、KB10253. List Filter Online でフィルターを保存し、フィルター済みビューのリンクを共有するで説明しています。



プロパティ ウィンドウのフィルター ウィンドウのオプション

列とフィルターの種類を選択するには、**列の選択**　ボタンをクリックし、フィルター処理に使用できるようにする列を選択します。各列に対して、見出し、**フィルターの種類**、順序を設定します。



List Filter のフィルター ウィンドウの列の設定

警告

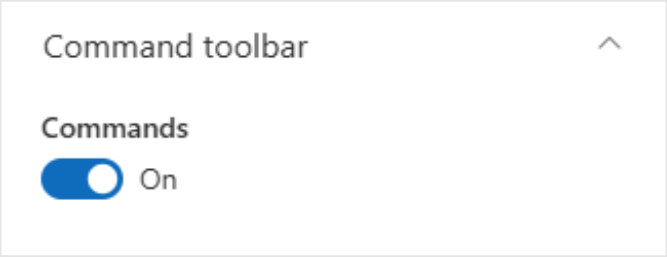
リストに 5,000 を超える項目がある場合、Web パーツは、インデックスのない選択済みのフィルター列すべてに警告を表示します。**列にインデックスがありません。この列で大規模なリストをフィルター処理すると、機能しない場合があります。**警告アイコンをクリックすると、パネルから直接その列に対して **インデックスの作成**を実行できます。KB10257. 大規模リストのフィルター処理: インデックス付き列と 5,000 アイテムのしきい値を参照してください。

ヒント

すべてのフィルター　　コントロールと、それらがサポートする列の種類は、KB10255. List Filter Online のフィルター ペイン コントロールとサポートされる列の種類に一覧があります。

コマンド ツールバー

コマンド ツールバーセクションには、リスト ビューの上にコマンド ツールバーを表示または非表示にする **コマンド**スイッチが 1 つだけあります。



List Filter のコマンド ツールバーの設定

ツール バーが表示されている場合、次のコマンドが含まれます。

- **新規**。新しい項目を作成します。ドキュメント　　ライブラリでは、メニューに **フォルダー**と　**ドキュメント**が表示されます。このコマンドは、項目を追加できるユーザーにのみ表示されます。
- **エクスポート**。ビューを Excel ブックにエクスポートします（**現在のページ**、**すべてのアイテム**、**選択されたアイテム**）。
- **保存済みフィルター**。**現在のフィルターを保存**、**フィルターへのリンクをコピー**、およびユーザーが保存したプリセットを含むメニューを開きます。

- **更新**。データを再読み込みします。

ユーザーが項目を選択すると、ツール　バーには、項目の種類とユーザーのアクセス許可に応じて、選択内容に適用されるコマンド（**開く**、**ダウンロード**、**編集**、**削除**など）も追加で表示されます。



保存済みフィルター] メニューを開いた状態のコマンド ツールバー

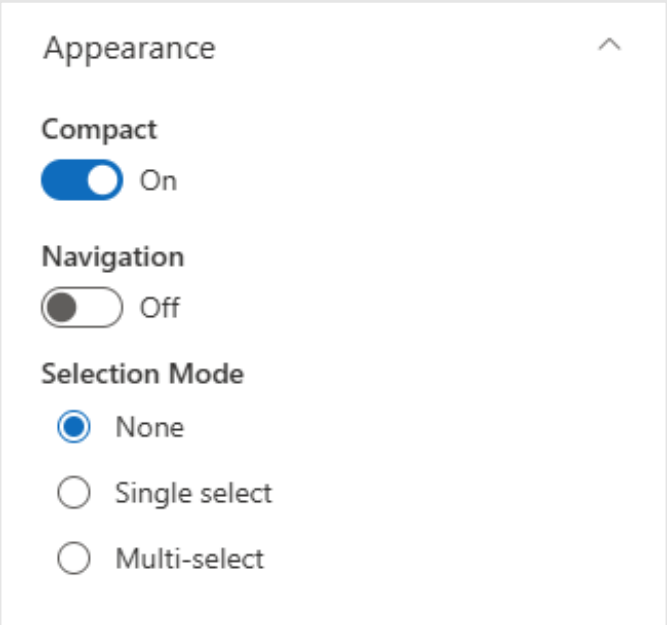
ヒント

エクスポートの手順は、KB50022. SharePoint リストを Excel にエクスポートする方法で順を追って説明しています。

外観

外観セクションでは、Web　パーツの見た目を制御します。次の設定を調整できます。

- **コンパクト**。リストをコンパクトな形式で表示し、行間のスペースを減らします。
- **リストの列の書式設定を使用する**。リストの設定で定義された列の書式設定 JSON を使用して列を表示するため、Web パーツにはネイティブのリスト ビューと同じ色、アイコン、レイアウトが表示されます。サポートされていない書式設定機能は、その列の既定の表示にフォールバックします。KB10259. List Filter Online での SharePoint 列の書式設定 JSON の使用を参照してください。
- **ナビゲーション**。結果の上のパンくずリスト　ナビゲーション　バーを表示または非表示にします。
- **選択モード**。**なし**、**単一選択**、**複数選択**の 3 つから選択します。**選択されたアイテム**　のエクスポート範囲およびツール　バーの項目コマンドを使用するには、選択が必要です。



List Filter の外観の設定

開発者ツール

開発者ツールセクションには、**開発者モードを有効にする**スイッチがあります。これをオンにすると、次のようになります。

- コマンド ツールバーに開発者メニューが追加され、**CAML クエリ** コマンドが表示されます。このコマンドは、現在のビューとユーザーのフィルターに対して Web パーツが SharePoint に送信する CAML クエリそのものをダイアログで開きます。
- **列**パネルの各列名の横にインデックスの状態（**インデックス付き**または **インデックスなし**）が、列の内部名（スキーマ名）とともに表示されます。



開発者モードで使用できる CAML クエリ ダイアログ

バージョン情報

情報セクションには、お使いのテナントにおける製品のライセンスの状態（試用版、有効、期限切れ）と、サブスクリプションを購入できる製品ページへのリンクが表示されます。

まとめ

Vitextra List Filter Online Web パーツは、**SharePoint Online** でデータを管理するために欠かせないツールです。フィルター ウィンドウ、カスケード フィルターと保存済みフィルター、グループ化と集計、列の書式設定、Excel へのエクスポートにより、ユーザーはリストやドキュメント ライブラリのデータを効率的にフィルター処理して取得でき、正確性と生産性の両方が向上します。豊富な構成オプションにより、この Web パーツはあらゆる組織の個別のニーズに適応し、SharePoint ツールキットに加える価値のある一品となります。

ヒント

Web パーツのエンド ユーザー向けの内容（フィルターの適用、保存、データのエクスポート）については、KB10252. List Filter Online: エンド ユーザー向けクイック ガイドを参照してください。

用語

CAML

Collaborative Application Markup Language (CAML) は、SharePoint で、リスト、ドキュメント ライブラリ、ビュー、コンテンツ タイプ、フィールド、データ レンダリング要素などのデータ定義オブジェクトを定義するために使用される、大文字と小文字を区別する XML ベースの言語です。たとえば、CAML を使用して、リストやライブラリからデータをフィルター処理して取得するクエリを作成できます。

JSON

JSON (JavaScript Object Notation) は、人間が読み書きしやすく、ソフトウェアが解析および生成しやすい、軽量なテキストベースのデータ交換形式です。構造化データを交換するために、REST API、構成ファイル、Web アプリケーションで広く使用されています。

REST API

REST API (Representational State Transfer Application Programming Interface) は、ソフトウェア アプリケーションがインターネット経由で通信するための標準化された方法です。クライアントは、GET、POST、PUT、DELETE などの標準的な HTTP メソッドを使用して、サーバー上のデータを要求したり操作したりできます。REST API は、スケーラブルで柔軟性が高く、さまざまなクライアント アプリケーションからアクセスできる Web サービスの構築に広く使用されています。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Online

SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

用語

ビュー

ビューは、リストまたはライブラリのどのアイテムをどのように表示するか (列、並べ替え、フィルター処理、グループ化、レイアウトを含む) を決定する、保存された構成です。ビューには、個人用ビューと公開ビューがあります。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。

列の書式設定

列の書式設定は、JSON 定義を使用して、リストやライブラリのフィールドの表示方法をカスタマイズする方法です。たとえば、コードを記述することなく、アイコン、色付きのインジケーター、リンクを表示できます。